

<b>研究課題名</b>	当科における子宮体癌に対する Pembrolizumab/Lenvatinib 併用療法の後方視的検討
<b>研究の意義・目的</b>	本邦において2021年12月よりがん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌に対してペンブロリズマブ（キートルーダ）/レンバチニブ（レンビマ）併用療法が保険適応となり新たな治療選択肢となりました。当院における子宮体癌に対するペンブロリズマブ（キートルーダ）/レンバチニブ（レンビマ）併用療法の有効性および安全性を後方視的に検討します。
<b>研究を行う期間</b>	機関の長の実施の許可日～2024年3月
<b>研究協力を お願いしたい方 （対象者）</b>	2022年3月～2022年11月に大阪公立大学医学部附属病院の女性診療科で、がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌に対してペンブロリズマブ（キートルーダ）/レンバチニブ（レンビマ）併用療法を受けられた方が対象となります。
<b>協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目</b>	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：【年齢、性別、診断名、血液検査結果、生理検査結果、画像検査結果、治療効果、有害事象（貧血・発熱性好中球減少症・血小板数減少・甲状腺機能亢進症・甲状腺機能低下症・高血圧・便秘・下痢・悪心・口内炎・蛋白尿・食欲減退・疲労・倦怠感・副腎機能不全・肝酵素上昇・腎不全・肝炎・膵炎・消化管穿孔）】
<b>試料・情報を利用す る者の範囲</b>	この研究は大阪公立大学医学部附属病院女性診療科のみで行います。
<b>試料・情報の管理に ついて責任を有する 者の研究機関の名称</b>	公立大学法人大阪、大阪公立大学医学部附属病院
<b>本研究の 利益相反</b>	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
<b>研究に協力を したくない場合</b>	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
<b>連絡先</b>	大阪公立大学大学院医学研究科 女性病態医学 （担当者氏名）山内 真 電話番号：(06) 6645-3862 メールアドレス：k21154y@omu.ac.jp